
宮地正人年譜

1944年 (昭和 19年)

1月17日 久留米市で生まれる

1959年 (昭和 34年)

3月 東京都港区立城南中学校卒業

4月 東京都立日比谷高等学校入学

1962年 (昭和 37年)

4月 東京大学文科三類入学

1966年 (昭和 41年)

4月 東京大学文学部国史学科卒業

1971年 (昭和 46年)

3月 東京大学大学院人文科学研究科国史学専攻博士課程中退

4月 東京大学文学部助手

1973年 (昭和 48年)

4月 東京大学史料編纂所入所

1982年 (昭和 57年)

4月 東京大学史料編纂所助教授

1983年 (昭和 58年)

4月～84年4月 文部省在外研究員 (英国)

1989年 (平成元年)

8月 東京大学史料編纂所教授

1995年 (平成7年)

4月～97年3月 東京大学史料編纂所所長

2001年 (平成13年)

8月 東京大学史料編纂所退職 (東京大学名誉教授)

9月 国立歴史民俗博物館長就任

2005年 (平成17年)

8月 国立歴史民俗博物館長を任期満了により退職

宮地正人研究業績目録

I 著書

1. 『日露戦後政治史の研究』東京大学出版会, 1973
2. 『幕末維新風雲通信—蘭医坪井信良の家兄宛書簡集—』東京大学出版会, 1978
3. 『天皇制の政治史的研究』校倉書房, 1981
4. 『国際政治下の近代日本』山川出版社, 1987
5. 『幕末維新期の文化と情報』名著刊行会, 1994
6. 『幕末維新期の社会的政治史研究』岩波書店, 1999
7. 『幕末京都の政局と朝廷—肥後藩京都留守居役の書状・日記から見た—』名著刊行会, 2002
8. 『歴史のなかの新選組』岩波書店, 2004

II 資料校訂

- 木下真弘『維新旧幕比較論』岩波文庫, 1993

III 共編著

1. 『日本近代史における転換期の研究』(坂野潤治氏と) 山川出版社, 1985
2. 『日本近代思想大系 5 宗教と国家』(安丸良夫氏と) 岩波書店, 1988
3. 『外国新聞に見る日本 第1巻』(1852~73) (内川芳美氏と) 毎日コミュニケーションズ, 1989
4. 『外国新聞に見る日本 第2巻』(1974~95) (内川芳美氏と) 毎日コミュニケーションズ, 1990
5. 『日本近代思想大系 13 歴史認識』(田中彰氏と) 岩波書店, 1991
6. 『国際人事典 幕末維新』(監修・解説: 宮地) 毎日コミュニケーションズ, 1991
7. 『外国新聞に見る日本 第3巻』(1896~1905) (内川芳美氏と) 毎日コミュニケーションズ, 1992
8. 『シリーズ日本近現代史 第1巻』(坂野潤治氏他と) 岩波書店, 1993
9. 『外国新聞に見る日本 第4巻』(1906~1922) (内川芳美氏と) 毎日コミュニケーションズ, 1993
10. 『日本史史料 4 近代』(大門正克氏他と) 岩波書店, 1997

IV 論文

1. 「教科書疑獄事件」『日本政治裁判史録』(明治後期) 第一法規, 1967
2. 「森戸辰男事件」『日本政治裁判史録』(大正期) 第一法規, 1969
3. 「大本教不敬事件」『日本政治裁判史録』(大正期) 第一法規, 1969
4. 「天理研究会不敬事件」『日本政治裁判史録』(昭和前期) 第一法規, 1970
5. 「第二次大本教事件」『日本政治裁判史録』(昭和後期) 第一法規, 1970
6. 「ひとのみち教団不敬事件」『日本政治裁判史録』(昭和後期) 第一法規, 1970
7. 「企画院事件」『日本政治裁判史録』(昭和後期) 第一法規, 1970
8. 「地方改良運動の論理と展開 (1) (2)」『史学雑誌』79-8・9, 1970
9. 「日露前後の社会と民衆」『講座日本史』第6巻 東京大学出版会, 1970
10. 「地方改良運動における報徳社の機能」『史学雑誌』80-2, 1971

11. 「国民主義的対外硬派論 (1) (2)」『史学雑誌』80-11・12, 1971
12. 「帝国主義形成期の都市民衆運動」『歴史学研究』大会別冊号, 1972
13. 「近代日本の民族と民主主義」『歴史学研究』大会別冊号, 1973
14. 「都市民衆運動」『日本民衆の歴史』第6巻 三省堂, 1974
15. 「朝幕関係からみた幕藩制国家の特質」『人民の歴史学』42 1975
16. 「形成過程からみた天皇制イデオロギーの特質」『歴史評論』315, 1976
17. 「平将門と明治維新」『歴史評論』317, 1976
18. 「幕末維新と天皇」『歴史評論』320, 1976
19. 「封建制下の天皇」『歴史を学ぶ人々のために』三省堂, 1977
20. 「資本による価値観の組織化とその歴史—『PHP』(1947年4年創刊)分析を中心に—」『歴史評論』344, 1978
21. 「久米邦武事件の政治史的考察—天皇制国家の確立と歴史学との関係によせて—」『転換期の歴史学』合同出版, 1979
22. 「戦後天皇制の現段階—国会の元号論議を手掛りとして」『歴史評論』358, 1980
23. 「幕末過渡期国家論」『講座日本近世史』8巻 有斐閣, 1981
24. 「玉虫左太夫の原「渡米日録」について」『日本歴史』418, 1983
25. 「船の社会史」『歴史評論』413, 984
26. 「幕末維新期の国家と外交」『講座日本歴史』(近代1) 東京大学出版会, 1985
27. 「廃藩置県政治過程—維新政府の崩壊と藩閥権力の成立—」『日本近代史における転換期の研究』山川出版, 1985
28. 「江戸後期の手紙と社会」『講座 日本技術の社会史』第8巻 日本評論社, 1985
29. 「政治史における天皇の機能」『天皇と天皇制を考える』青木書店, 1986
30. 「政治と歴史学—明治期の維新史研究を手掛りとして」『現代歴史学入門』東京大学出版社, 1987
31. 「国家神道形成過程の問題点」『宗教と国家』岩波書店, 1988
32. 「幕末の政治・情報・文化の関係について」『愛知大学総合郷土研究所紀要』34, 1989
33. 「国家神道の形成過程」『日本文化研究所紀要』64, 1989
34. 「幕末の情報収集と風説留」『週間朝日百科 日本の歴史 歴史の読み方6』, 1989
35. 「八王子千人隊の静岡移住—千人隊之頭志村源一郎を中心として—」『静岡県近代史研究』15, 1989
36. 「天皇制ファシズムとそのイデオログたち—国民精神文化研究所を例にとって」『科学と思想』76, 1990
37. 「廃藩置県後の静岡県士族の動向—一等勤番組志村源一郎家を例として—」『静岡県近代史研究』16, 1990
38. 「天皇制イデオロギーにおける大嘗祭の機能」『歴史評論』492, 1991
39. 「幕末・明治前期における歴史認識の構造」『歴史認識』岩波書店, 1991
40. 「『日本文化大観』編集始末記—天皇制ファシズムにおける文化論・文化史の構造—」『「日本文化論」批判』水曜社, 1991
41. 「『復古記』原史料の基礎的研究」『東京大学史料編纂所研究紀要』1, 1991
42. 「幕末期旗本用人の生活とその機能」『白山史学』28, 1992
43. 「風説留から見た幕末社会の特質—「公論」世界の端緒の成立—」『思想』831, 1993
44. 「幕末旗本用人論—江戸都市論に旗本社会をどう組み込むか—」『明治日本の政治家群像』吉川弘文館, 1993
45. 「維新変革と近代日本」『シリーズ 日本近現代史』第1巻, 岩波書店, 1993

-
46. 「幕末政治過程における豪農商と在村知識人—紀州日高有田両郡を視座として—」『シリーズ日本近現代史』第1巻, 岩波書店, 1993
 47. 「幕末平田国学と政治情報」『日本の近世』第18巻, 中央公論社, 1994
 48. 「維新政権論」『岩波講座 日本通史』(近代1), 岩波書店, 1994
 49. 「台湾」『講座世界史』第1巻, 東京大学出版会, 1995
 50. 「国際会議と国際条約」『講座世界史』第1巻, 東京大学出版会, 1995
 51. 「日本的国民国家の確立と日清戦争—帝国主義的世界体制成立との関連において」『黒船と日清戦争』未来社, 1996
 52. 「日本社会の意識状況 1945-1995」『講座世界史』第11巻, 東京大学出版会, 1996
 53. 「近世画像の諸機能と写真の出現」『幕末幻の油絵師島霞谷』1996
 54. 「明治九年静岡県成立の特徴」『静岡県史研究』13, 1997
 55. 「混沌の中の開成所」『学問のアルケオロジー』東京大学出版会, 1997
 56. 「幕末の鹿兒島藩と情報収集」『黎明館調査研究報告』11, 1998
 57. 「勝海舟と現代」『勝海舟と現代』下町人間総合研究所, 1999
 58. 「幕末期情報センターとしての中山道中津川宿とその背景」『街道の歴史と文化』1, 1999
 59. 「国民国家の論じ方によせて」『日本の科学者』34-9, 1999
 60. 「沿アムール軍管区総督の日露開戦反対論」『第4回東アジア歴史教育シンポジウム報告集』1999
 61. 「明治維新と中津川」『街道の歴史と文化』2, 2000
 62. 「明治時代の史料蒐集と保存」『日本の古文書』第12集, 雄山閣, 2000
 63. 「明治維新の論じ方」『駒沢大学史学論集』30, 2000
 64. 「外交史からみた征韓論争」『黎明館調査研究報告』12, 2000
 65. 「グローバリゼーションの観点から明治維新を考える」『社会科学研究』52-6, 2001
 66. 「幕末彦根藩の政治過程」『幕末維新の彦根藩』2001
 67. 「ロシア国立海軍文書館所蔵 1860-61年長崎関係史料について」『東京大学史料編纂所研究紀要』11, 2001
 68. 「中津川商人の国学受容と横浜交易」『街道の歴史と文化』3, 2001
 69. 「井上清の明治維新論」『新装版日本現代史I 明治維新』東京大学出版会, 2001
 70. 「明治維新の学び方—風説留・摺物(瓦版)・錦絵を介して—」『全歴研研究紀要』37, 全国歴史教育研究協議会, 2001
 71. 「ペリーの白旗書簡は偽文書である」『UP』346, 2001
 72. 「ペリーの白旗書簡は明白な偽文書である」『歴史評論』618, 2001
 73. Meiji Revolution "International Encyclopedia of the Social and Behavioral Sciences", Pergamon, Oxford, 2001
 74. 「技術教育史」『新体系日本史11 産業技術史』山川出版社, 2001
 75. 「中津川国学者と薩長同盟—薩長盟約新史料の紹介を糸口として—」『街道の歴史と文化』5, 2003
 76. 「幕末中津川をめぐる三人の女性達」『街道の歴史と文化』6, 2003
 77. 「フランス革命と明治維新」『フランス革命と日本・アジアの近代化』専修大学大学院社会知性開発研究センター, 2004
 78. 「伊吹廼舎と四千の門弟たち」『別冊太陽 平田篤胤』平凡社, 2004
 79. 「小説『夜明け前』と中津川」『街道の歴史と文化』7, 2004
 80. 「幕末維新史の史料学」『新しい近現代史研究へ』総研大日本歴史研究専攻・国立歴史民俗博物館, 2004
-

-
- 81 「21世紀の日本と田中正造・勝海舟」『憲法九条・平和を守るたたかいと田中正造・勝海舟』
下町人間総合研究所, 2005
- 82 「下伊那の国学」『飯田市歴史研究所年報』3, 2005